

港区西部地域 学校再編整備計画

教育環境の確保及び教育活動の充実を目的とした学校配置の適正化を推進するため、次のとおり港区西部地域(港中学校区及び築港中学校区)における学校再編整備計画を策定する。

記

1 学校再編整備の対象校

(1) 中学校

港中学校、築港中学校

(2) 小学校

八幡屋小学校、港晴小学校、池島小学校

2 学校適正配置の手法

(1) 中学校

港中学校、築港中学校を統合

(2) 小学校

八幡屋小学校、港晴小学校、池島小学校を統合

3 学校適正配置の時期

(1) 中学校

令和9年4月(港中学校の施設整備完了後)

(2) 小学校

令和11年4月(八幡屋小学校の施設整備完了後)

4 活用する学校施設及び改修等の計画

(1) 中学校

- ・ 港中学校の校地(大阪市港区池島1丁目)
- ・ 既存校舎を活用(教室改造等を含む)

(2) 小学校

- ・ 八幡屋小学校の校地(大阪市港区八幡屋3丁目)
- ・ 校舎等の増築及び既存校舎を活用(教室改造等を含む)

5 適正配置対象校等の学級数及び児童生徒数の推移

(※令和5年5月1日現在。児童生徒数は特別支援学級の児童生徒数を含む。学級数は特別支援学級を含まない。)

(1) 中学校について

(港中学校の生徒数・学級数推計)

- ・ 令和5年度は生徒数242人、7学級。今後も生徒数は減少する見込み。

	生徒数	学級数	3年生	2年生	1年生
令和5年度	242人	7学級	73人	80人	89人
令和6年度	217人	7学級	79人	89人	49人
令和7年度	193人	7学級	88人	49人	56人
令和8年度	158人	6学級	48人	56人	54人
令和9年度	156人	6学級	55人	54人	47人

(築港中学校の生徒数・学級数推計)

- ・ 令和5年度は生徒数58人、3学級。今後も全学年が単学級で推移する見込み。

	生徒数	学級数	3年生	2年生	1年生
令和5年度	58人	3学級	22人	15人	21人
令和6年度	66人	3学級	15人	21人	30人
令和7年度	79人	3学級	21人	30人	28人
令和8年度	79人	3学級	30人	28人	21人
令和9年度	75人	3学級	28人	21人	26人

(2) 小学校について

(八幡屋小学校の児童数・学級数推計)

- ・ 令和5年度は児童数169人、6学級。今後も児童数は減少する見込み。

	児童数	学級数	6年生	5年生	4年生	3年生	2年生	1年生
令和5年度	169人	6学級	30人	27人	27人	26人	30人	29人
令和6年度	163人	6学級	27人	27人	26人	30人	30人	23人
令和7年度	160人	6学級	27人	26人	29人	30人	23人	25人
令和8年度	169人	7学級	26人	29人	29人	23人	25人	37人
令和9年度	166人	7学級	29人	29人	23人	25人	38人	22人
令和10年度	159人	7学級	29人	23人	25人	38人	22人	22人
令和11年度	151人	7学級	23人	25人	37人	22人	22人	22人

(港晴小学校の児童数・学級数推計)

- ・ 令和5年度は児童数157人、6学級。今後も全学年が単学級で推移する見込み。

	児童数	学級数	6年生	5年生	4年生	3年生	2年生	1年生
令和5年度	157人	6学級	27人	32人	19人	28人	18人	33人
令和6年度	157人	6学級	32人	19人	28人	18人	33人	27人
令和7年度	150人	6学級	19人	28人	18人	33人	27人	25人
令和8年度	166人	6学級	28人	18人	33人	27人	25人	35人
令和9年度	156人	6学級	18人	33人	27人	25人	35人	18人
令和10年度	166人	6学級	33人	27人	25人	35人	18人	28人
令和11年度	153人	6学級	27人	25人	35人	18人	28人	20人

(池島小学校の児童数・学級数推計)

- ・ 令和5年度は児童数87人、6学級。今後も全学年が単学級で推移する見込み。

	児童数	学級数	6年生	5年生	4年生	3年生	2年生	1年生
令和5年度	87人	6学級	12人	21人	19人	14人	12人	9人
令和6年度	96人	6学級	21人	19人	14人	12人	9人	21人
令和7年度	95人	6学級	19人	14人	12人	9人	21人	20人
令和8年度	88人	6学級	14人	12人	9人	21人	20人	12人
令和9年度	91人	6学級	12人	9人	21人	20人	12人	17人
令和10年度	87人	6学級	9人	21人	20人	12人	17人	8人
令和11年度	93人	6学級	21人	20人	12人	17人	8人	15人

6 学校再編整備後の見込み

(1) 中学校について

- ・ 学校再編整備時の令和9年度には、生徒数242人の7学級になる見込み。

(学校再編整備後の生徒数・学校数推計)

	生徒数	学級数	3年生	2年生	1年生
令和9年度	242人	7学級	89人	75人	78人

(2) 小学校について

- ・ 学校再編整備時の令和11年度には、児童数384人の15学級になる見込み。

(学校再編整備後の児童数・学校数推計)

	児童数	学級数	6年生	5年生	4年生	3年生	2年生	1年生
令和11年度	384人	15学級	75人	71人	82人	54人	52人	50人

7 学校再編整備後の通学と安全対策

- ・ 通学区域及び通学路については、別紙1および2のとおり。
- ・ 安全確保や負担軽減のための対策について、「学校適正配置検討会議」において、意見等を聴取した上で、必要な対策を検討するとともに、とりわけ小学校の通学路においては、児童が安全・安心に登下校できるよう、警察や道路管理者とも連携し、安全対策を実施する。

8 その他

(1)統合前後の学校運営等について

- ・ 統合を円滑に進めるため、合同行事などを通じて児童生徒、教員の相互交流を図るとともに、教員間において、統合後の学校における教育方針や教育内容について話し合うなど、各学校間の連携を強化していく。
- ・ 各学校においてこれまで培ってきた取組、文化等を統合後の学校に継承、発展させていく。

(2)築港小学校について

- ・ 築港中学校を進学中学とする築港小学校については、令和5年度時点において、適正配置対象校であるが、通学にかかる安全、児童数の推移等を総合的に勘案し、今回の再編には含めないこととする。また、築港地域については、未就学児が増加傾向にあり、築港地域の活性化、学校の魅力化等に取り組むことにより子育て世帯の増加をめざす。ただし、今後一層の小規模化が進行した場合は、再編について再度検討する。

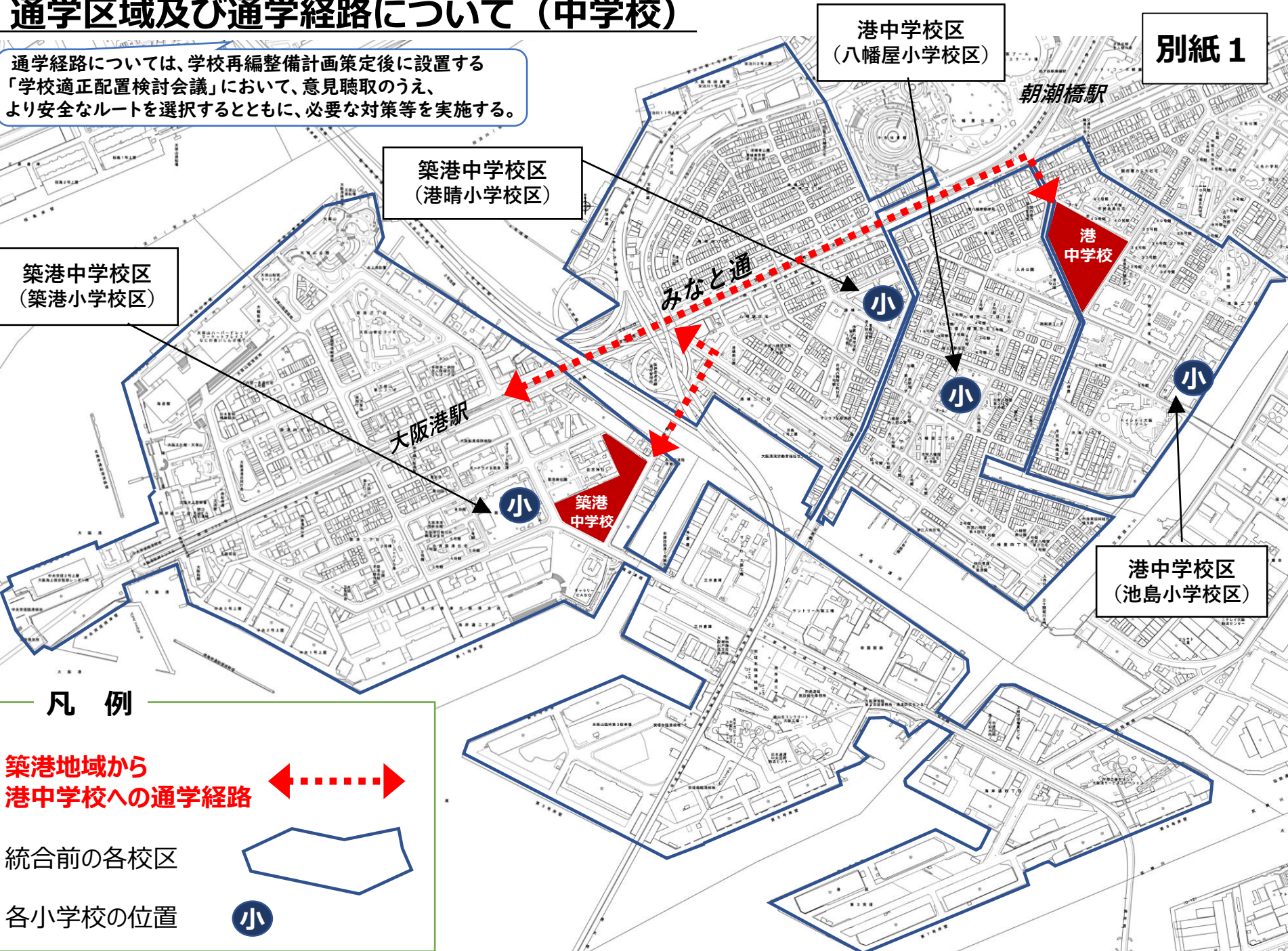
(3)学校適正配置検討会議で意見聴取する事項等について

- ・ 本計画に関すること、制服その他必要な事項について、様々な意見を踏まえ決定する。
- ・ 再編に伴い、新たな物品(制服等)がある場合は、教育委員会が用意し、保護者に過度な負担を与えないよう配慮する。

通学区域及び通学経路について（中学校）

通学経路については、学校再編整備計画策定後に設置する「学校適正配置検討会議」において、意見聴取のうえ、より安全なルートを選択するとともに、必要な対策等を実施する。

別紙 1

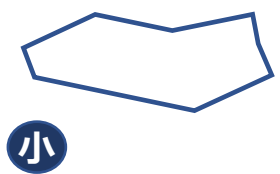


凡 例

築港地域から
港中学校への通学経路

統合前の各校区

各小学校の位置



通学区区域及び通学路について（小学校）

別紙 2

通学路については、学校再編整備計画策定後に設置する「学校適正配置検討会議」において、意見聴取のうえ、より安全なルートを選択するとともに、必要な対策等を実施する。

港晴小学校区

八幡屋小学校区

港晴小

八幡屋小

池島小

池島小学校区

凡 例

新たな通学路



統合前の各校区

